

# NPO法人月と風と 事業報告書

2019/04/01-2020/03/31

「月」のように、誰かの力を借り、誰かの道を照らす。  
「風」のように、楽しく優しい音楽を奏でる。一人ではなく、みんなで一緒に。  
「月と風と」には、そのような意味が込められています。

人は存在そのものが「希望」であると考えた時、しょうがいのある方も、生きづらさを感じている方も、誰もが誰かの「希望」になりえます。  
月と風とでは、そんな、ひととひとの関係性をつくっていきたいと考えています。

重いしょうがいのある方が暮らしやすいまちは、誰にとっても暮らしやすい。

みんなで関わり合うことで、新しい価値をつくっていく。  
わたしたちは、そんな地域づくりを目指して、活動を続けています。

## 2025年『ふくしのまち園田』

### 月と風とが目指す社会

それは“誰かが誰かの役に立っていることが実感できる暮らし”

「風通しよく」「モノ言える」社会

いろんな人と関わる・小さな声が大切にされる、雰囲気・仕組み・工夫がある

場づくり（表現・関係性）

しょうがいのある方もない方も、楽しく交流できる・自分らしく表現できる機会をつくっています。

「ちがいをおもしろがりながら」  
「ごきげんに暮らせる」社会

ひととひとで関わり、一緒にぎゃははと笑い合いながら、自分らしくいることができる

ヘルパー派遣（生活）

枠にとらわれず思いに寄り添いながら、制度だけでは満たされないニーズを発掘し、明日が楽しみになるお手伝いをしています。

「小さく」「たくさん」「えらべる」  
社会

思いの実現のために、いろんな選択肢がある中で、自分なりに進めることができる

しごとづくり（お店・モノ）

チャリティショップ（古着販売）の運営とグッズ製作を軸に、しょうがいのある方の「仕事」や、法人の新しい事業として進めていきます。

## 『 問いと実践の両輪で、多様性を認め合える組織へ 』

### ■ 全体総括

2019年度は『ふくしのまち園田構想』に近づけるべく、4月にチャリティショップふくるをオープンし、それをきっかけに「ふるさと納税」や「認定NPO取得」、「寄付サイトオープン」などを視野にいれた「チャリティ文化醸成」のための一歩を踏み出すことができました。

『問いと実践の両輪で、多様性を認め合える組織へ』という目標のもと活動していましたが、あるスタッフはヘルパー活動に、あるスタッフは外部との連携や広報に、あるスタッフはミーツザ福祉にといった感じで、それぞれ自分の中での「問い」に対して、力を入れる活動を選んで行動していた印象がありました。

また、実際に、利用者さんの親御さんから「助けてもらった」「きてくれてうれしい」などの感想をいただいたり、ミーツ・ザ・福祉での献身的でありながら自身も楽しむ姿や、ミーツ後もレコーディングの手伝いをしたりする関係が続いている様子などが見られ、ますます、それぞれが、それぞれの思いを軸にして、前のめりに楽しみながら活動に取り組んでいるように感じています。

### ■ 運営面

4月にチャリティショップをオープンし、同時に新人スタッフの採用もできましたが、下半期には、スタッフの産休とベテラン登録ヘルパーさんの退職が重なったため、新規事業スタートにともなって十分な体制を整えたというよりは、手探り状態の中、何とか目の前の活動を工夫しながら進めていったという印象の一年でした。

ミーツ・ザ・福祉、チャリティショップなど、さらに外部の人との連携による活動の幅を広げることができた反面、スタッフ間での情報共有をしっかりと行いながら運営していくことの難しさを感じた一年でもありました。

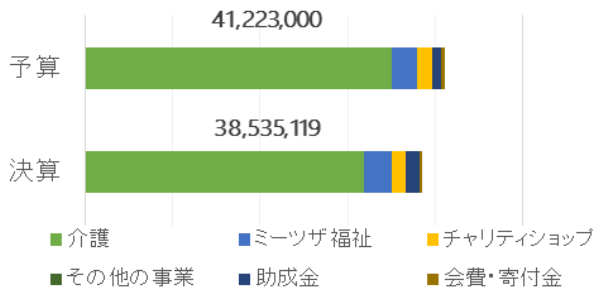
### ■ 財政面

約280万円の赤字決算となりました。下半期、スタッフ増員によるヘルパー収入の増加を見込んでいましたが、スタッフの産休とベテラン登録ヘルパーさんの退職により、登録ヘルパーさんが入れる1ヶ月の平均ケア時間が約65h減少したものの、スタッフでカバーできるケアを増やすことができなかったため、思うようにヘルパー収益を増やすことができませんでした。

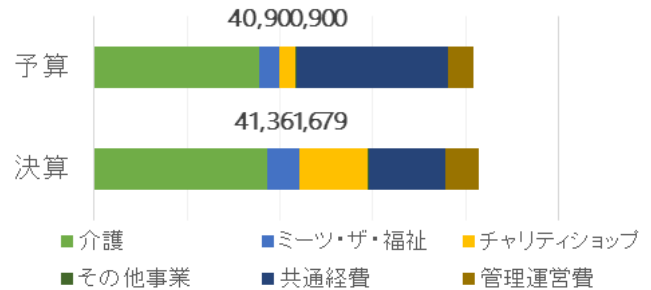
その他の要因として、主にミーツ・ザ・福祉、チャリティショップの動きの中で膨らんだ費用をカバーするほどの収益増につなげられなかったという点がありますが、どちらもミッション達成のための活動として重要な動きになっているので、今後も、その成果の部分が後退することのないよう工夫しながら、慎重に進めていきたいと思えます。

## <全体収支 予算比較グラフ>

2019年度決算「収益」 予算比較グラフ



2019年度決算「費用」 予算比較グラフ



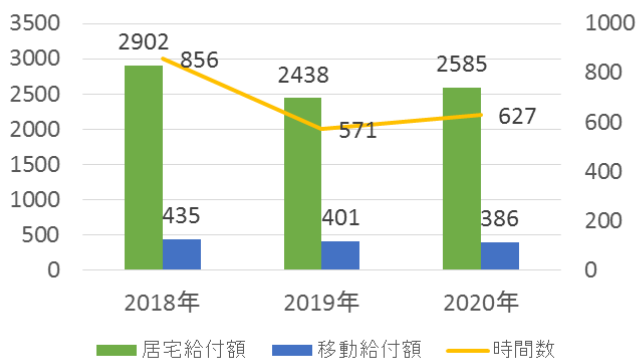
## ヘルパー派遣事業

ここ数年、重点的に取り組んできたこともあり、今年度はヘルパー関連の各種会議を、全般的にしっかりと予定通り行うことができました。

その結果、必要な情報共有をする機会が増え、ケアの現場で起こる「ちょっとした困りごと」から「大きな事故防止につながる工夫改善」等、ニーズに応じた迅速な相談と対応ができるようになってきました。また、実際の対応を相談する場面が増えたことで、事故報告書の活用頻度が高くなり、結果的に、ちゃんと記録に残すことの重要性を改めて周知することができたと思います。

一方で、個別支援計画を作成するための『個別支援会議』については、主に、担当者の業務負担が大きくなってしまいうような習慣ができていることに気づき、課題感を感じる場面がありました。今後は、改めて個別支援計画の作成手順や、担当業務の内容、会議の進行方法などを見直し、より良いチームで、より良い支援に取り組めるよう工夫していきたいです。

ヘルパー派遣事業 3月実績比較グラフ



ヘルパー派遣事業 前年度比較表 \* 月平均

	2018年度	2019年度
介護給付費	3,234,000円	2,630,000円
介護時間	728 h	562 h
利用人数	26 人	24 人
ヘルパー数	12 人	12 人

## ■ 場づくり（表現・関係性）

今年度は、チャリティショップ事業が始動したこともあり、ミーツ・ザ・福祉以外の活動規模を大幅に縮小しました。

どれも、今まで大切にしてきた活動なので、それぞれの「目的」や各プロジェクトが果たしていた「役割」などを改めてふりかえりながら、スタッフ間で繰り返し話しあいを重ね、最終的に、定例開催を重視せず自由度高くニーズに応じて開催できることを確認して、動き方をボリュームに合わせてシフトしていく方向で合意することができました。

結果的に、開催の決め手になるきっかけがつかめず開催に至らなかったものもありましたが、利用者さんの継続的な参加のあった『書道の会』、利用者さんを含めた色んな人から人気のあった『BBQの会』、外部からの呼びかけにより開催が決定した『おふろイベント』など、その時々のニーズに応じて柔軟に開催できるような流れもできてきました。

また、ミーツ・ザ・福祉の動きの中では、派生したプロジェクト『花火 de ミーツ』で、人生初の手持ち花火体験や人生初の生花火大会経験が利用者さんに生まれていたり、利用者さん以外のしょうがいのある方とも、数えきれない出会いがあり、より一層、活動の幅を拡げられていると感じています。

### 『 軽茶堂（かるちゃどう） 』

参加者：86人 参加費：32,500円

4月	<u>書道/詩かくよむ</u>	<u>6人</u>
5月	<u>書道/BBQ/麻雀</u>	<u>48人</u>
6月	<u>書道</u>	<u>1人</u>
7月	<u>書道/おかず王</u>	<u>15人</u>
8月	<u>書道</u>	<u>5人</u>
12月	<u>書道</u>	<u>5人</u>
1月	<u>書道</u>	<u>3人</u>
3月	<u>書道</u>	<u>3人</u>

### 『 おふろプロジェクト 』

■ヤシノキ@蓬莱湯 6/15(土) 24人参加

児童デイサービスヤシノキさんと。普段まちの銭湯に行ったことが無い子が多く、とても楽しみにしてくれていました。絵カードなどでの事前学習をしたり、学びにもつながったようでした。

■みかん@第一敷島湯 8/20(火) 33人参加

児童デイサービスみかんさんと。貸切でお借りし、番台体験・バックヤード見学などを楽しみました。バックヤード見学では、ボイラーへ薪を入れさせてもらえたり、普段できない体験もさせてもらえました。また、今回は、過去にあった暑さのトラブル防止のため、大きな扇風機を準備し、安心してみんなで楽しむことができました。

### 『 ミーツ・ザ・福祉 』

11/9(土)10-16@橋公園野球場

■出店 68ブース/福祉系 48 一般 20

■出演 18組

■その他コンテンツ

ミーツ・ザ・新喜劇/ミーツ de パンデミック/ミーツ・ジ・アート/ミーツ・ザ・運動会/アマモン GO/みんなでフィナーレ/相席協会/ダイバーシティ VR/移動ほけん室/フリーペーパー屋/巨大ジェンガ etc.

5月 説明&意見交換会 2回 112人

6-11月 オープンMTG 6回 243人参加

8月 花火 de ミーツ 約 200人参加

10月 ボランティア説明会 2回 40人参加

11月 準備作業 約 60人参加

[当日] スタッフ:約 100人 参加者:約 4,000人

[翌日] サミット開催 約 80人参加

## ■ しごとづくり（お店・モノ）

今年度4月、いよいよ『チャリティショップふくる』がオープンし、1月には、尼崎で古着の回収&商品化を行うための『集荷センター』を始動させることができました。

チャリティショップ事業の本格スタートにより、今まで以上に関わり方の間口が広がったことが、すごく大きな成果だと感じています。

実際に、働く時のサポートが必要、かつ、意欲的にチャリティショップで働いてみたい！という方に継続的に関わってもらえるようになったり、ボランティア・インターンを受け入れやすくなったり、コープこうべさんとも、さらに関係が深まっています。

しかし、手探り状態の中で進めないといけないことも多く、広報やボランティアマネジメントが手薄になってしまったことで、せっかく興味を持って関わってくれているボランティアさんの活躍の場を、上手く提供することができない場面がありました。

まだまだ試行錯誤が続いていますが、今後は、業務の可視化・組織内での適切な役割分担・スムーズな情報共有の工夫など、ボランティアさんを含めた運営体制を実現できる新しい仕組みづくりに取り組んでいきたいです。

	チャリティショップふくる 売上表						* 月平均営業日数：19日
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
<b>4月</b> ふくる開店/オープニングイベント/ トーク&ファッションショー							
<b>5月</b> GW16日間連続オープン/ ボランティアミーティング	売上（千円）	307	325	320	279	263	195
	客数（人）	268	325	301	272	232	163
<b>6月</b> コープ組合員ボランティア説明会/ ボランティアミーティング							
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>7月</b> おようふく交流会/森の自由研究フェス 出店/ボランティアミーティング	売上（千円）	245	262	252	182	136	146
	客数（人）	221	215	227	161	153	147
<b>8月</b> 子どもが親をコーディネート対決/ ボランティアミーティング							
<b>9月</b> 夜のふくる/リズム寺出店/ベルコ祭出店/ ボランティアミーティング							
<b>10月</b> ボランティアミーティング							
<b>11月</b> ミーツ・ザ・福祉出店/ボランティアミーティング							
<b>12月</b> アジアンクリスマス/ボランティアミーティング							
<b>1月</b> 子どもショップ店員体験/ボランティアミーティング							
<b>2月</b> コープ組合員まつりファッションショー/ボランティアミーティング							
<b>3月</b> コープ安倉・まごころ茶屋出店準備/ボランティアミーティング							

■売上合計：2,911,050円 ■売上平均/日：12,657円  
 ■客数合計：2,685人 ■平均客単価：1,084円

# 2019年度 活動計算書(報告書)

2019年04月01日～2020年03月31日(配賦)

## 特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目		金額	
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	78,000		
賛助会員受取会費	6,000		
受取会費計		84,000	
受取寄付金			
受取寄付金	23,644		
- 一般寄付金			
- ミーツザ福祉使途指定寄付金	239,551		
- チャリティショップ使途指定寄付金	25,049		
受取寄付金計		288,244	
受取助成金等			
受取国庫補助金	288,694		
- 人材開発支援助成金			
受取地方公共団体補助金	50,000		
- 自発的活動支援事業			
- あまらぶチャレンジ事業補助金	220,000		
受取民間助成金	919,520		
- コープ共済地域ささえあい助成			
受取助成金等計		1,478,214	
事業収益			
居宅介護事業収益	27,200,221		
- 介護給付費			
- 自己負担金	111,912		
移動支援事業収益	4,295,290		
- 地域生活支援給付費			
- 自己負担金	34,380		
- 独自派遣料	237,180		
ちいきづくり事業収益	3,500		
- 参加料(イベント/講座等)			
- 市民福祉のつどい委託料	1,954,000		
ミーツ・ザ・福祉事業収益	458,700		
- 参加料			
- 協賛金	209,483		
- 出店料	337,500		
- 売上高	188,050		
チャリティショップ事業収益	60,650		
- 売上高			
- 販売手数料	1,561,229		
軽茶堂事業収益	32,500		
- 参加料			
事業収益計		36,684,595	
その他収益			
受取利息	66		
その他収益計		66	
経常収益合計			38,535,119
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
役員報酬	3,689,064		
給料手当	19,809,527		
賞与	2,593,000		
法定福利費	3,956,538		
福利厚生費	174,852		
【人件費計】		30,222,981	
【その他費用】			
諸謝金	419,024		
通勤交通費	221,180		
旅費交通費	167,761		

# 2019年度 活動計算書(報告書)

2019年04月01日～2020年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額	
会議費	148,763	
交際費	3,525	
通信運搬費	193,089	
広告宣伝費	896,358	
消耗什器備品費	661,668	
消耗品費	370,037	
新聞図書費	7,590	
研修費	116,354	
印刷製本費	135,234	
修繕費	37,752	
燃料費	79,576	
賃借料	786,280	
保険料	341,290	
水道光熱費	130,731	
支払地代家賃	1,665,600	
委託費	924,197	
諸会費	1,000	
支払手数料	59,830	
租税公課	10,050	
雑費	226,522	
減価償却費	42,232	
【その他費用計】		7,645,643
事業費計		37,868,624
運営費		
【人件費】		
役員報酬	409,896	
給料手当	2,413,117	
【人件費計】		2,823,013
【その他費用】		
旅費交通費	12,120	
会議費	16,246	
通信運搬費	40,491	
新聞図書費	2,097	
印刷製本費	45,078	
水道光熱費	43,577	
支払地代家賃	339,000	
委託費	120,447	
諸会費	3,000	
支払手数料	47,536	
租税公課	450	
【その他費用計】		670,042
運営費計		3,493,055
経常費用合計		41,361,679
当期経常増減額		-2,826,560
2.経常外増減の部		
(1)経常外収益		
経常外収益合計		0
(2)経常外費用		
経常外費用合計		0
当期経常外増減額		0
税引前当期正味財産増減額		-2,826,560
法人税、住民税及び事業税	82,000	
当期正味財産増減額		-2,908,560
前期繰越正味財産額		8,770,550
次期繰越正味財産額		5,861,990

## 2019年度 貸借対照表

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
現金	35,111		
小口現金	93,500		
普通預金	2,326,752		
未収金	5,692,827		
流動資産合計		8,148,190	
固定資産			
建物付属設備	275,308		
車両運搬具	1		
保証金	18,000		
リサイクル預託金	8,070		
固定資産合計		301,379	
資産合計			8,449,569
負債の部			
流動負債			
未払金	2,210,273		
預り金	377,306		
流動負債合計		2,587,579	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,587,579
正味財産の部			
前期繰越正味財産		8,770,550	
当期正味財産増減額		-2,908,560	
正味財産合計			5,861,990
負債及び正味財産合計			8,449,569



2019年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 月と風と

(円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金		35,111		
小口現金		93,500		
--レジ現金		93,500		
普通預金		2,326,752		
--近畿労働金庫		1,399,255		
--ゆうちょ銀行		301,717		
--振替口座		625,780		
未収金		5,692,827		
--介護給付費		4,820,777		
--尼崎市(移動)		662,116		
--西宮市(移動)		15,772		
--自己負担金		90,312		
--独自派遣		35,720		
--伊丹(移動)		68,130		
流動資産合計			8,148,190	
固定資産				
建物附属設備		275,308		
車両運搬具		1		
保証金		18,000		
リサイクル預託金		8,070		
固定資産合計			301,379	
資産合計				8,449,569
負債の部				
流動負債				
未払金		2,210,273		
--給料・交通費		1,758,945		
--社会保険料		361,621		
--諸経費		16,831		
--販売手数料		72,876		
預り金		377,306		
--源泉所得税(給与)		72,759		
--住民税		48,000		
--社会保険料		256,547		
流動負債合計			2,587,579	
固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				2,587,579
正味財産合計				5,861,990

## 計算書類の注記

特定非営利活動法人 月と風と

### 1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
- (2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は5,861,990円であり、年度末に使途等が制約された正味財産はありません。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
人材開発支援助成金	0	288,694	288,694	0	スタッフの資格取得および研修等として使用
ミーツザ福祉事業寄付金	0	239,551	239,551	0	ミーツザ福祉事業にかかる費用として使用
あまらぶチャレンジ事業助成金	0	220,000	132,000	88,000	ミーツザ福祉事業にかかる費用として使用 *残金は次年度返納予定
チャリティショップ事業寄付金	0	25,049	25,049	0	チャリティショップ事業にかかる費用として使用
自発的活動支援事業助成金	0	50,000	50,000	0	チャリティショップ事業にかかる費用として使用
コープ共済地域ささえあい助成	0	919,520	919,520	0	チャリティショップ事業にかかる費用として使用
<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>1,742,814</b>	<b>1,654,814</b>	<b>88,000</b>	

### 3 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	317,540	0	0	317,540	△ 42,232	<b>275,308</b>
福祉車両	1	0	0	1	0	<b>1</b>
保証金	18,000	0	0	18,000	0	<b>18,000</b>
投資その他の資産						
リサイクル預託金	8,070	0	0	8,070	0	<b>8,070</b>
<b>合計</b>	<b>343,611</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>343,611</b>	<b>△ 42,232</b>	<b>301,379</b>